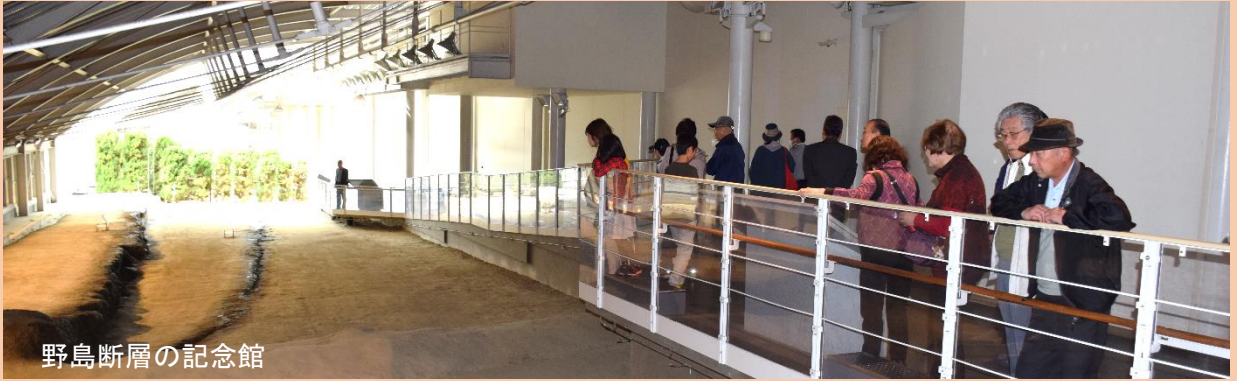


2017年4月

淡路・鳴門の春楽しむ

高松・東讃地区の合同レク



4月5日(水) 高松・東讃地区合同春のレクに37名が参加、淡路と鳴門の旅を楽しみました。

淡路は2年前阪神淡路大地震で大きな被害をうけ、野島断層の震源地に記念館があり、断層地震の恐ろしさを改めて知りました。

地震はその後、東北・熊本と続き、予想される南海地震も身近に感じて、館長の「日頃の近所付き合いが救助に役立った」という話は印象に残りました。

昼食後は地本の造り酒屋を見学、地酒の試飲を心待ちにしていた参加者、工場長のトークに酔ったのか土産物を抱えて笑顔でバスに乗り込むと、淡路の定番「タコせんべい」にも寄って皆さん土産が増えました。

しかし、メインの渦潮は小潮のためはっきり見えず、観潮船で気分を悪くする人もいて、最後に疲れがドッと出たバスツアーとなりました。

(石川正治・記)